

↑この日は積雪が多く、雪上に座ってじっくり遊びたくなる暖かい日。この子は「網」で雪玉をガリガリ削っていました。微調整しながら、高いお山の大盛りかき氷の完成です。色の素材を提案すべきなのか、保育者は悩みます。



✓この道具はスケッパーです。砂遊びの道具として準備している園が多いと思います。用途は様々で、切る・混ぜる・集める....。「バーベキュー！」と盛り上がっていた子供たちが焼いていたのは、そう、ソーセージ。用途がもう一つあったということを子供に教わりました。ソーセージをどうやって作ったのか、もう分かりましたね？

「新しい意味」を生成して、写真Aは、だいぶ雪が少ないと勝手に土が混じります。すると、A児は雪を丸めながら、「あんこもち」と呟きました。お正月にいつぱい食べたのかもしれませんし、最近読んだ絵本「ばばばあちゃんのおもちつき」のことを想起しているのかもしません。「あつち」といい道具たくさんあるよ」といってました。

さて、雪と言えばどんな遊びの事例を語れますか。子供は、環境に自ら関わりながら、やりたい遊びのイメージを膨らませます。例えば、べた雪か粉雪か、気温や風はどうか、大雪かさらつと積もつただけか、降り続いているのか太陽の光が差しているのかなど、気象条件も子供を誘う環境の一つとなります。また、「イメージを膨らませる」ということは、過去の経験や知識と、今目の前で起きていることをつなげながら、その子なりに

雪が積もつた朝のわくわく感は、多くの大人に残る、子供時代の大切な記憶の一つでしょう。白い息を弾ませながら園庭を駆け回る子供たちの姿が、今も冬の訪れを告げています。それぞれの幼稚園教育施設の方では、きっとと一緒にきらきらと目を輝かせて登園する子供たちを迎えるため、今年の冬に合わせた環境構成をあれやこれやと始めている頃だと思います。

道具置き場には何種類もの筆や刷毛が置いてありました。冬の道具に欠かせないものの一つなのです。雪堀りをして、雪堀りをしたB児が、その筆と刷毛を使っています。どうやらチヨコを使つた洋菓子のようです。



傍にいた保育者が声をかけました。ちょうど昨日、先生たちで「冬の遊び道具」を整理したばかりだつたのです。道具置き場から戻つてきたA児が手にしていたものは、網でした。網をのせる土台は保育者が提案しました。網がただ地べたに置かれるよりも、網の下に空洞ができるように置かれた方がいいと、A児のイメージを保育者は捉えたのです。A児は、あんこ餅を網に並べると、乾いた色のいい落ち葉を園庭の端から見つけてきました。びりびり割り、餅の上にそつと添えるA児。雪の少ない日だからこそ素材です。土まみれの真っ黒雪玉と真冬の落ち葉は「トッピング付きあんこ餅」しかも焼き立て」と、A児によつて意味が付与されたのです。

C児たちは、大きなタフ
イで型をとつた特大のスボ
ンジケーキに、カップやお
玉で飾り付け。「絵の具」
はとても楽しく、なかなかが
難しい素材とも言えます。
特に雪は真っ白ですから、
色は非常に映えます。絵の
具を出すタイミングによつ
ては、雪の楽しみ方や関心
事が一気に変わつてしまつ
たり、周囲の遊びに思わぬ
影響を及ぼしたりすること
も少なくありません。時期
やタイミング、提供場所、
素材の種類や量等々、先生
たちの作戦会議は必須です。



右の2次元コードを読み取るか
クリックで回答をお願いします。



発行元
お問合せ先

山形県教育局義務教育課

► 023-630-3416 ◀ kura

ANSWER